

県内産森林認証材を使用したダボの開発

[背景・目的]

現在、環境等に配慮して育成された森林認証材の利用推進が期待されているものの、森林認証材のみで家具を製造したくても、森林認証材のダボがありません。

この理由として、国内のダボメーカーが森林認証材を加工する上で必要なCOC認証を取得していないことが挙げられます。

そんな中、COC認証を取得している家具メーカーである(株)キシル(浜松市)が、自社で森林認証材のダボを製造する意向があることから技術的支援を行いました。

[研究成果]

浜松市内で森林認証材として入手可能な複数の樹種でダボを試作し(図1)、引き抜き試験等を行ったところ、ヒノキの心材が既成のブナと同等以上の性能があることが分かりました(図2)。

次にヒノキ心材のダボを使用した家具製品を試作し、強度試験を実施したところ、JIS基準を満たしました(図3)。

平成29年10月にオープンしたキシル名古屋店の内装が、ヒノキ心材ダボを使用した最初の事例となりました(図4)。



図1 試作したダボ(ヒノキ心材)

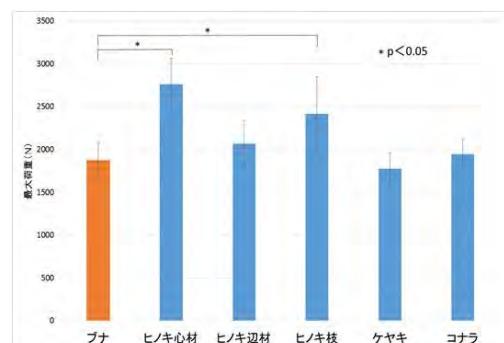


図2 引き抜き試験結果(基材ヒノキ)

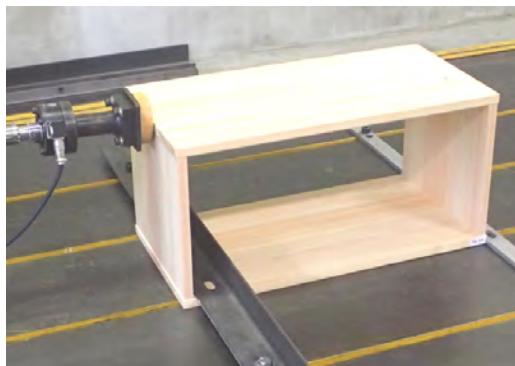


図3 製品試験の様子



図4 ヒノキ心材ダボ使用したキシル名古屋店内装

[研究成果の普及・技術移転の計画]

今後、(株)キシルでは、ダボ製造機を導入し、ヒノキダボを使用した森林認証材100%の家具を製造するとともに、ヒノキダボの販売も開始する予定です。